

田柄高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 学年：第3学年 単位数：2単位

教科担当者：菊田

使用教科書：数研出版 「新編 数学Ⅱ」

使用教材：数研出版 「改訂版 クリアー 数学Ⅱ+B」

期間	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
第1 学期 前半	数と式 式と証明 複素数と方程式	3次式の展開・因数分解ができる。 等式・不等式の証明ができる。 複素数の概念を理解して、その演算ができる。 数の範囲を複素数まで拡張して、2次方程式を解ける。	定期考査、提出物、出席状況等により総合的に判断する。	12
第1 学期 後半	2次関数 図形と計量 三角関数 図形と方程式	一般形であらわされたグラフの式を標準形に直し、グラフの概形が書ける。 三角比を利用し、図形の計量ができる。 一般角の三角関数の値を求められる。 不等式が表す領域を図示できる。	定期考査、提出物、出席状況等により総合的に判断する。	14
第2 学期 前半	データの分析 場合の数・確率 指数関数・対数関数	データの平均・標準偏差等を求め、それらをもとにデータの分析ができる。 場合の数を求めるときの基本的な法則や確率について理解する。 指数関数・対数関数について理解する。	定期考査、提出物、出席状況等により総合的に判断する。	14
第2 学期 後半	整数の性質 図形の性質 微分と積分	整数の性質について理解する。 平面図形や空間図形の性質について理解する。 微分・積分の考えについて理解する。	定期考査、提出物、出席状況等により総合的に判断する。	14
第3 学期	平面上のベクトル 空間のベクトル 数列	ベクトルの基本的な概念について理解する。 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。	定期考査、提出物、出席状況等により総合的に判断する。	8